

ひろか だより

第368号

令和5年3月16日

発行

弘果 弘前中央青果株式会社

TEL 0172-27-5511

弘果

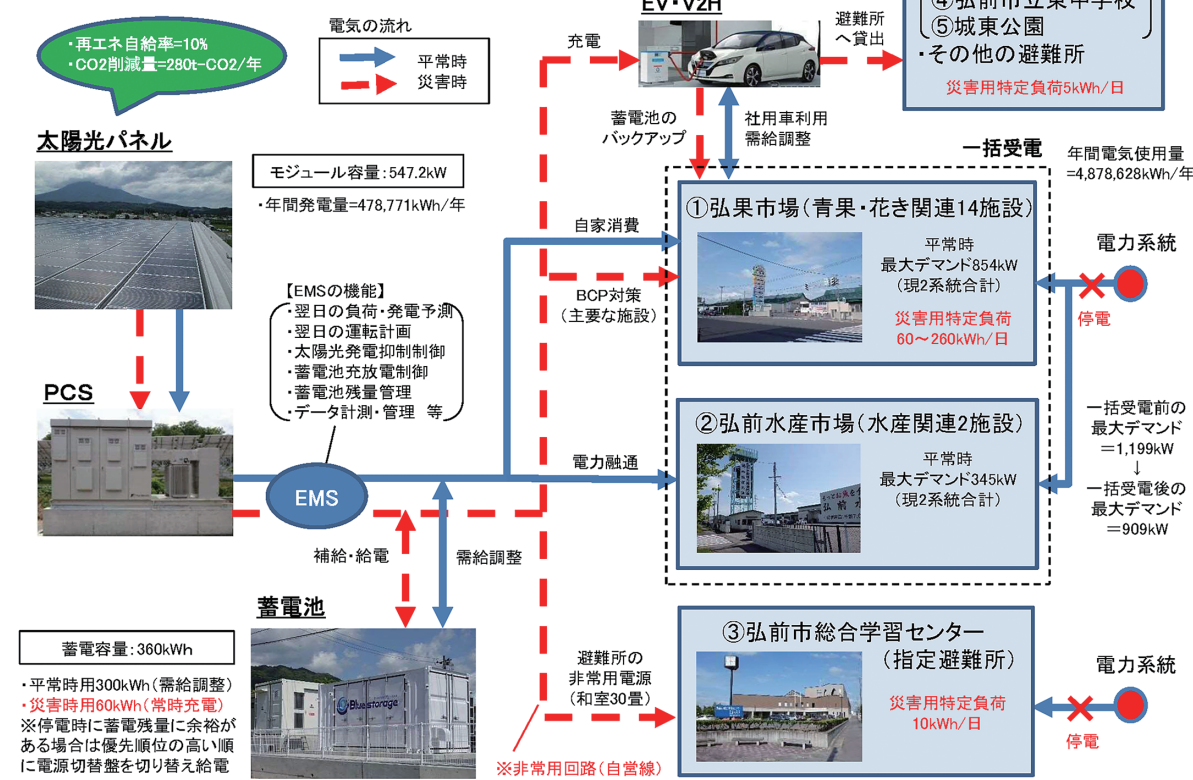
土曜日



午前7時～
午前10時

好評開催中!

システムフロー図



全国初 低炭素化型市場 実現を目指す

弘果弘前中央青果(青果卸売市場)、弘前水産地方卸売市場、弘前水産冷蔵協同組合の3団体では、全国初の低炭素化型市場を目指し、太陽光発電とEMS(エネルギーマネジメントシステム)を組み合わせた、再生可能エネルギー導入事業に取り組みます。

現在、地球全体の気候変動や資源の枯渇に対するカーボンニュートラルやSDGs(持続可能な開発目標)など環境問題への対応が求められています。また各市場では、生鮮食品を温度管理するための冷蔵設備による電力使用が非常に多く、コストが高く、二酸化炭素排出量が多いという課題を抱えています。

その解決策の一つとして、エネルギー(電力)の使用状況を可視化して、その運用及び需給バランスを最適化するための「EMS」の導入で、電力の最大使用量を削減する「ピークカット」を行い、省エネやコストダウンにつなげることが考えられます。

当事業では弘前市と連携し、太陽光発電や蓄電池、EV車(電気自動車)を活用した給電システム、EMSを組み合わせた電力供給システムを構築し、平常時と災害時に、発電した電力をバランスよく効果的に利用することで、「エネルギーの地産地消」「災害に強いまち」を同時に実現し、地域循環共生圏の構築を実現するとともに、先進的なモデル事例を創出することで他地域への波及を目指すことを目的としています。そして実行されれば、約10%のコスト削減と約162tの二酸化炭素の排出抑制となります。

当社は民設民営の卸売市場として、時代の潮流を見越した市場を変化させています。そうすることで地域産業も持続的に発展していくことを期待しています。

家庭の銀行 みちのく銀行 りんご生産者対象 産地市場活性化ローン

対象者	以下の①②両方を満たす個人事業主および法人(NPO法人は対象外) ①青森県内でりんごの生産を行っている方 ②両市場へりんごを販売される方
使いみち	営農資金 融資期間 1年以内
固定金利	①固定金利 1.350%~4.000% (申告内容によって適用金利を設定させていただきます) ②金利優遇 農業共済に加入していることが証明された場合に上記金利から0.200%優遇いたします。
取扱店	〈弘果弘前中央青果(株) 担当店〉 城東支店 0172-27-6701 〈(株)津軽りんご市場 担当店〉 板柳支店 0172-73-2121 弘前営業部 0172-32-2111 堅田支店 0172-35-1400 松原支店 0172-87-5511 黒石支店 0172-52-2155 五所川原中央支店 0173-35-2101 木造支店 0173-42-2145 下土手町支店 0172-32-4211 上記、該当店の法人営業課がご対応いたします。

みちのく銀行が弘果と津軽りんご市場と提携し、りんご生産者向けの金融支援として、運転資金制度「産地市場活性化ローン」を開発し、取り扱っています。

同制度は、両市場にりんごを出荷する県内の個人事業主と法人が対象で、出荷したりんご売上代金を担保に融資し、営農に限る運転資金として利用できます。

不動産担保、保証人不要で、借入れしやすくなっております。金利については、みちのく銀行所定の固定金利で、農業共済に加入している場合は、年0.2%金利を引き下げることができます。融資の期間は1年、限度額は300万円以内で、市場への出荷箱数により変わります。また、両市場に出荷実績のない方でも、これから出荷することでご利用できます。

詳細はお近くの同ローン取扱店(別表参照)へご来店及びお問い合わせください。

尚、両市場で実施している「りんご予約金制度」は変わらずにお使いいただけますので、こちらも引き続きご利用ください。

つがりあメロン アムさん

つがる市木造地区の阿部一さん、松橋尚子さん、山谷文人さんのハウスで2月28日、つがりあメロン「アムさん」の定植が始まりました。

当日は阿部さん、松橋さん、山谷さんとスタッフが一本一本丁寧に定植を行いました。3月上旬までには全6棟のハウス(20坪相当)に1560本の苗が定植される予定です。今後は、温泉水熱を利用して温度管理を行うことで、栽培管理を徹底すること、食味・品質がよいメロンに仕上げたいです。

阿部さんは「昨年は過去最高値(秀玉サイズ1箱30万円)を更新し、大いに生産の励みとなりました。そして、初競りの話題性だけではなく、食味のよい高品質な「アムさん」メロンを、より多くの人に味わってもら



順調な生育と高品質に願いを込めて定植

今固定植された「アムさん」は6月上旬に収穫される予定です。

期待込め定植始まる

つがる市木造地区の阿部一さん、松橋尚子さん、山谷文人さんのハウスで2月28日、つがりあメロン「アムさん」の定植が始まりました。

当日は阿部さん、松橋さん、山谷さんとスタッフが一本一本丁寧に定植を行いました。3月上旬までには全6棟のハウス(20坪相当)に1560本の苗が定植される予定です。今後は、温泉水熱を利用して温度管理を徹底すること、食味・品質がよいメロンに仕上げたいです。

阿部さんは「昨年は過去最高値(秀玉サイズ1箱30万円)を更新し、大いに生産の励みとなりました。そして、初競りの話題性だけではなく、食味のよい高品質な「アムさん」メロンを、より多くの人に味わってもら

産を取り巻く環境は厳しいですが、作っているメロンはどこに出しても恥ずかしくない美味しいメロンと自負しています。

今年も皆様から良い評価をいただけるように、美味しいメロン生産に努めます」と期待を込めて話していました。

松橋さんは「今日はここ数年では一番の初定植日となりました。今後は、更なる品質向上と大玉生産を目指し、温度管理などの栽培管理を徹底し、美味しいメロンに仕上げたい」と意気込みました。

「農」の「業」を継ぐ

期待の後継者



小堀修平さん

小堀将太郎さん

小堀将太郎さん (32)
小堀修平さん (28)

【園地所在地】 弘前市川合
 【作付状況】 50棟(約4万㎡)の

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向けて努力する期待の後継者を紹介します。

ハウスで、メロン等の育苗を中心に、春菊、サニーレタス、キャベツ等を栽培

【就農年】
 将太郎さん(以下「将太郎」(敬称略)) 2010年
 修平さん(以下「修平」(敬称略)) 2014年

【きっかけ】(将太郎) 祖父が起ち上げた「小堀農園」を、父、叔父が盛り立てている姿を見て育ちました。学生時代は時折手伝いはしていましたが、特に家業へ執着はなく、高校卒業後は建築業に従事していました。就職後も休日や時間があれば手伝いをしていました。情熱を持って仕事に向き合っている家族や親族の姿を再確認し、「育苗」という栽培の根幹となる仕事に興味を湧いてきました。そして意を決して仕事を退職、アルバイトとして家業に従事し、その後は本格的に育苗を学ぶため、千葉県の園芸植物育種研究所(以下「園研」)で研修生として様々な知識、経験を積み、青森に帰省して本格的に就農しました。

(修平) 家業の手伝いを行う中で、漠然と興味を抱くようになりました。そして高校卒業後に家業のことを見据えて、従兄弟の将太郎と同様に園研へ進み、育苗

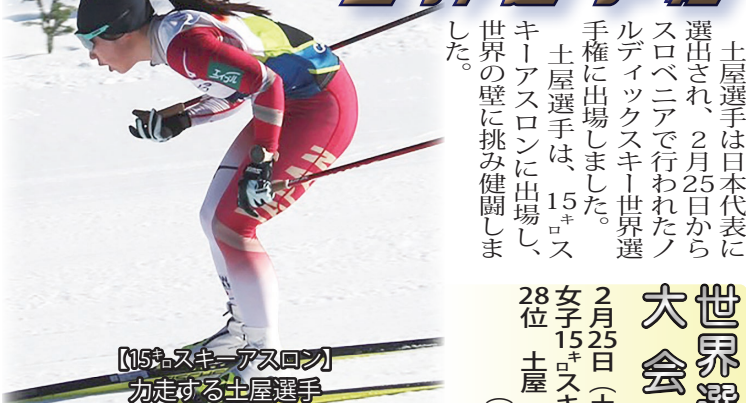
の研究をしました。研修終了後は青森に戻り、就農しました。

【現在と今後の展望】(将太郎) 温泉熱を利用したハウスで、年間を通して約180万株の育苗と各種野菜栽培を行う上で、品質を落とさずに労力軽減と、収量増を両立させていく方法を常に考えています。祖父に始まり、父と叔父が創り上げてきたこの「小堀農園」を、三代目である私と修平が更に発展させていく気概を持って取り組んでいます。

(修平) 将太郎が私の考えと同じことを話しましたが(笑)、効率良く生産性を上げていくことが、今後ますます重要になると考えます。何事も「育苗」に通ずるものと考え、「小堀農園」で働く人や出荷先等、全ての関係者と、「ウィンウィンの関係」を育んでいきたい。

【座右の銘】(将太郎) 「今日やるべきことは今日行う」この言葉の通り、何事も後回しにはせず取り組むことが自分のためにもなり、信用に繋がっていくと信じています。

(修平) 「希望は永遠の命」大好きな映画の名言です。この映画の主人公のように、どんな状況でも諦めない、希望を持つことの大切さを感じて、毎日仕事に励んでいます。



特別国民体育大会
 冬季大会スキー競技
 会「いわて八幡平白銀国体」が2月17日、岩手県八幡平市で行われ、弘果スキーレーシングクラブ横濱汐莉選手が出場しました。

【15歳スキーアスロン】
 力走する土屋選手

【5歳クラシカル】
 ラストスパートをかける横濱選手

土屋選手は日本代表に選出され、2月25日からスロベニアで行われたノルディックスキー世界選手権に出場しました。土屋選手は、15歳スキースロンに出場し、世界の壁に挑み健闘しました。

世界選手権 大会結果

2月25日(土)
 女子15歳スキースロン
 28位 土屋 41分42秒9
 (日本勢2位)

いわて八幡平 白銀国体

昨年末の右手首骨折から手術を経て、調整が遅れたことで万全の状態とはいかず、19日の成年女子A5kmクラシカルでは、入賞に届かず9位に終わりました。横濱選手は「限られた時間でやれることはやりました」と結果を受け止めています。

20日の女子20kmリレー(5km×4)では、青森県の第3走として9位でタッチを受け、快走で2つ順位を押し上げ、入賞圏内でアンカーにつなぎました。結果9位と入賞に届きませんでした。横濱選手はレース後「1人1人全力を出した」と後輩達をねぎらい、健闘を讃えました。

また、両日とも青森から応援に駆けつけた弘果職員が、コース脇に掲げた旗を立て、横断幕を掲げて声援を送りました。声援を受けた横濱選手は「大会中、自分の応援が一番多かったのでは」と笑顔で話していました。

いわて国体 大会結果

2月19日(日)
 女子5歳クラシカル
 9位 横濱 15分43秒4
 2月20日(月)
 女子4×5歳リレー
 9位 青森 1時間2分9秒8(横濱 第3走者)

耕種的防除(落葉処理)を継続して行いましょう

弘果総合研究開発では2019年度からの3年間、黒星病対策としての落葉粉砕処理(耕種的防除)の効果について、弘前大学と共同研究を行いました。その結果、落葉粉砕処理を行うことで、一次感染源である子の胞子の飛散量を減少させる効果が期待されます。

近年は、黒星病の発生が少ない年が続いていますが、黒星病菌は降水量が多いと活動が活発になることから、的確な薬剤散布及び落葉粉砕処理等の耕種的防除を継続して行うことが黒星病対策として重要となります。

落葉粉砕処理は、1次感染源である越冬落葉を

りんご黒星病対策



草刈り機での落葉粉砕処理

取り除き、園地内の菌密度低下を目的としていますので、融雪後できるだけ早い時期に実施しましょう。

Hiroka R&D Inc.
 弘果総合研究開発(株)
 弘果総研 QR
 弘果総研

青森県りんご勲章受章

青森県では2月10日、本県りんご産業の発展に貢献した個人・団体を讃える令和4年度の「青森県りんご勲章」表彰式を青森市ねぶたの家ワラッセで行い、当社をはじめ受章した3団体の功績を讃えました。

当社は、青森県産りんごの全国への流通拠点として重要な役割を担うとともに、グループ会社と連携した

表彰式では、三村申吾青森県知事から表彰状を受け取った大中常務は「卸売市場は、生産者や業者の皆様があつてこそであり、今回の受章は皆様を代表して頂きました。今後も青森県りんご産業発展に向けて努力していきたい」と関係者へ感謝の意を表しました。



三村知事から表彰状を受け取る大中常務

青森県攻めの農林水産業賞
 奨励賞 受賞
 青森りんごTS導入協議会
 青森りんごTS協議会は、りんご生産における農薬の使用履歴を管理するトレーサビリティシステムを構築するとともに、情報発信拠点として、国内外へ青森県産りんごの魅力やPRし、ブランド化に取り組むなど、地域農業をけん引していることが評価され、青森県から、青森県攻めの農林水産業賞奨励賞が贈られました。

りんご大学 QR

皆様の加入をお願いします。

野菜・果実トレーサビリティ 受付開始について

令和5年度野菜・果実トレーサビリティの受付が始まります。

消費者へ「安心・安全」を届けるために、皆様の加入をお願いいたします。

【期間】 3月27日から随時受け付け

【場所】 弘果トレサビセンター(当社第2卸売場)

【時間】 午前8時～午後5時

【休業日】 市場休市日(弘果カレンダー参照)

【費用】 3000円(令和6年3月31日まで有効)

【対象品目】 野菜と果実(りんご、オリジナルメロン、天然の山菜を除く)

☆つがりあん品目は必須

【持参していただくもの】 案内はがき(3月中旬発送予定)、登録費用、出荷登録番号票 ※初めて登録される方は印鑑も持参下さい。

詳しくは弘果総合研究開発(電話0172-0172-27-5511)まで。